

2024年3月期第3四半期(4-12月)
決算説明資料
2024年2月13日

株式
会社 **加藤製作所**

I. 2024年3月期 第3四半期 連結決算概要

- | | |
|----------------------|-------|
| 1. 連結業績サマリー | P.2～3 |
| 2. 連結業績推移、四半期毎の売上高推移 | P.4～6 |
| 3. 連結損益計算書 | P.7 |
| 4. 連結貸借対照表 | P.8 |
| 5. 連結主要品目別売上高推移 | P.9 |
| 6. 主要品目紹介 | P.10 |
| 7. 連結仕向地別売上高(日本除く) | P.11 |

II. 2024年3月期 連結業績予想

- | | |
|--------------------------|------|
| 1. 2024年3月期通期連結業績予想 | P.12 |
| 2. 期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ | P.13 |

III. TOPICS

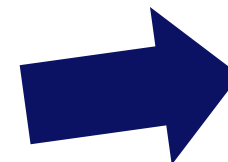
- | | |
|-----------|---------|
| 1. TOPICS | P.14～15 |
|-----------|---------|

連結業績サマリー

売上高

40,365 百万円

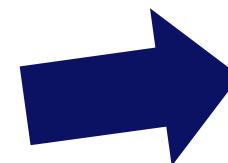
(前期実績39,362百万円、前年同期比増減率2.5%)



営業利益

887 百万円

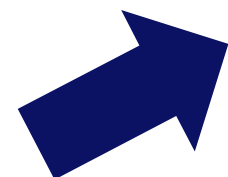
(前期実績736百万円、前年同期比増減率20.5%)



経常利益

1,728 百万円

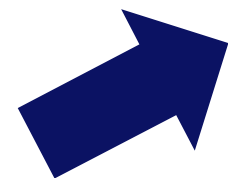
(前期実績1,244百万円、前年同期比増減率39.0%)



親会社株主に帰属する
当期純利益

2,877 百万円

(前期実績2,144百万円、前年同期比増減率34.2%)



①売上高の状況

- 国内売上高（28,221→26,460百万円、▲6.2%の減収）
海外売上高（11,141→13,904百万円、24.8%の増収）
国内売上高は建設用クレーンの主要部品供給不足が継続しており、前期比▲6.2%の減収
海外売上高は中国市場では不調が続くものの、欧州・米州市場が好調であり前期比+24.8%の増収
海外売上高比率が28.3%→34.4%と海外が全体の売上高をけん引

②セグメント(製造拠点)別状況

- 日本：建設用クレーンの主要部品供給不足が継続しているものの、
欧州・米州向けの油圧ショベル等の輸出が好調
- 中国：建設需要の低迷により、厳しい販売環境が継続
- 欧州：売上高は前期比同水準にて推移

※米州には日本からの輸出版売のみで製造拠点はございません

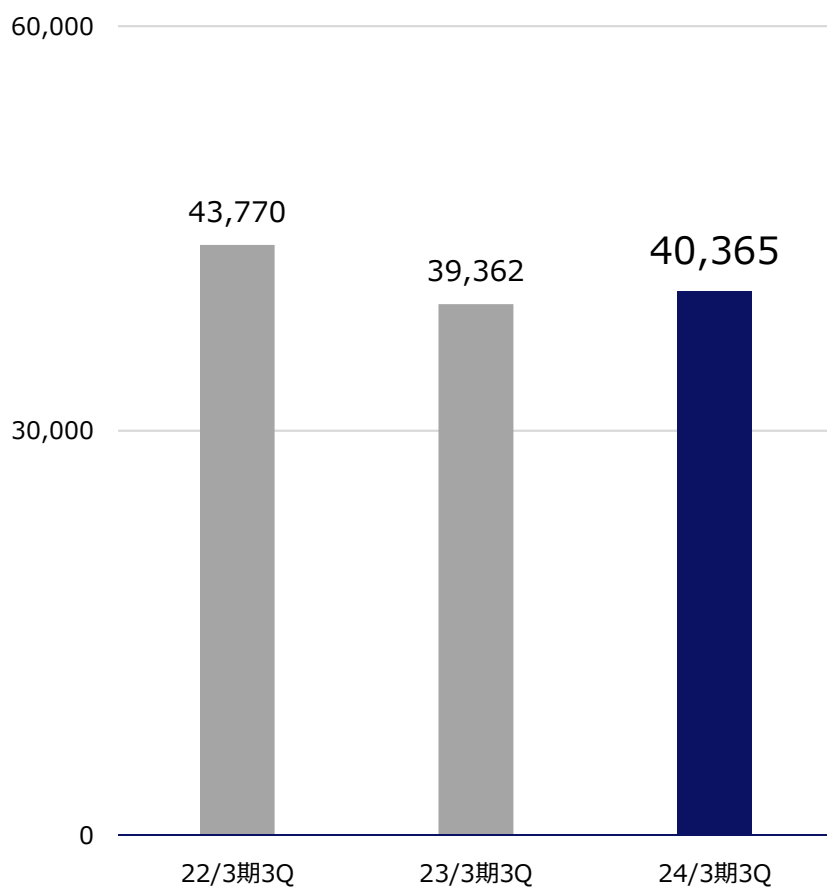
連結業績推移



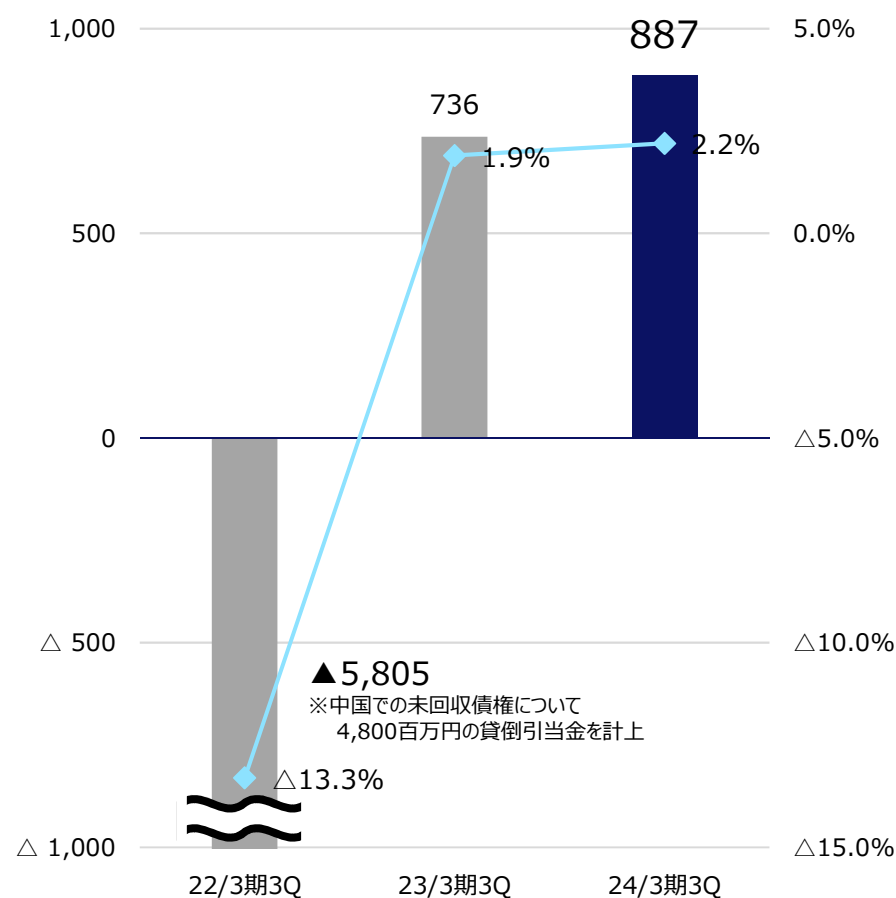
進化の奥の更なる真価へ

(単位：百万円)

売上高



営業利益・営業利益率

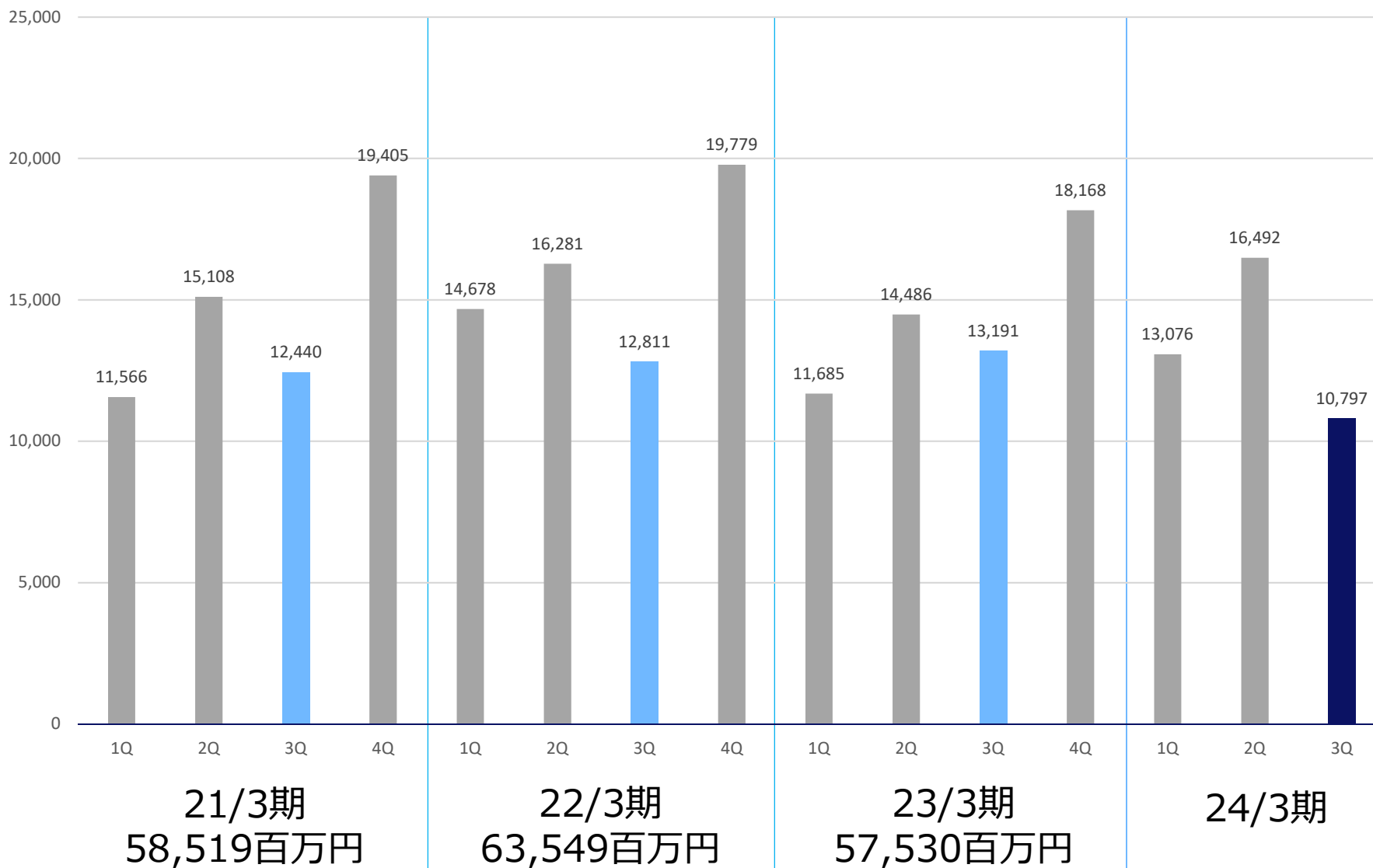


連結業績推移(四半期毎の売上高推移)



進化の奥の更なる真価へ

(単位：百万円)



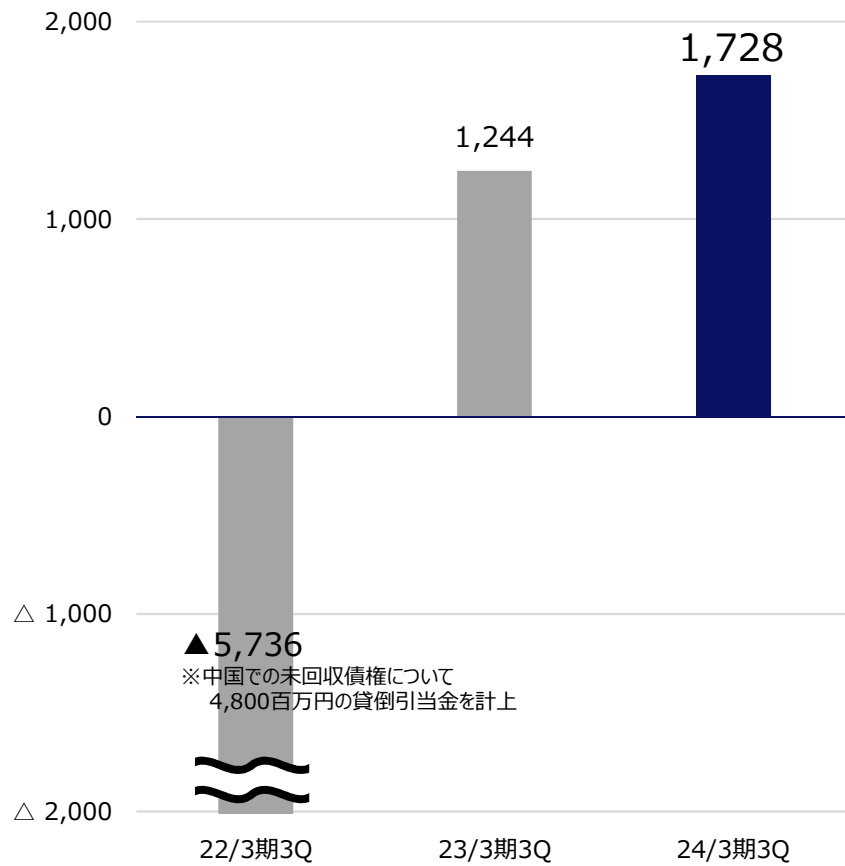
連結業績推移



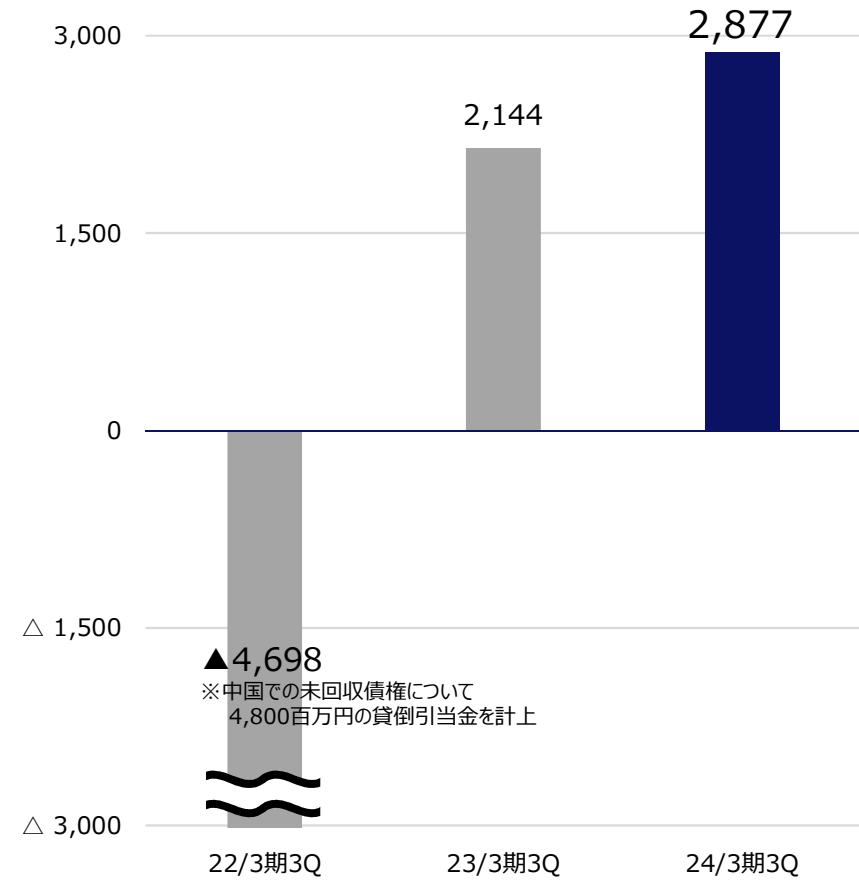
進化の奥の更なる真価へ

(単位：百万円)

経常利益



親会社株主当期純利益



連結損益計算書



進化の奥の更なる真価へ

(単位：百万円)

	2023年3月期 第3四半期		2024年3月期 第3四半期		前年同期比	
	金額	比率	金額	比率	増減額	増減率
売上高	39,362	100.0%	40,365	100.0%	1,003	2.5%
売上原価	33,056	84.0%	33,051	81.9%	△ 5	0.0%
売上総利益	6,305	16.0%	7,314	18.1%	1,009	16.0%
販管費	5,568	14.1%	6,426	15.9%	858	15.4%
営業利益	736	1.9%	887	2.2%	150	20.5%
営業外損益	507	1.3%	840	2.1%	333	65.8%
経常利益	1,244	3.2%	1,728	4.3%	484	39.0%
特別損益	932	2.4%	1,377	3.4%	445	47.8%
税前利益	2,176	5.5%	3,106	7.7%	930	42.7%
法人税等	23	0.1%	330	0.8%	306	1292.6%
非支配株主当期純利益	8	0.0%	△ 100	△0.3%	△ 109	-
親会社株主当期純利益	2,144	5.4%	2,877	7.1%	732	34.2%

売上原価率の改善

84.0% → 81.9% (2.1ポイント改善)
 中期経営計画にて掲げた原価率低減施策を継続実施

販管費の増加

国内外の営業促進費用の増加
 給与・賞与等の前期削減からの回復
 中国での貸倒引当金繰入の増加

営業外損益の増加

円安による為替差益と不動産賃貸の収益等によるもの

特別損益の発生

タイの工場設備売却益によるもの

連結貸借対照表



進化の奥の更なる真価へ

(単位：百万円)

			2023年3月期		2024年3月期 第3四半期		前期末比	売上債権は減少(△3,439) 25,060 → 21,620 回転期間 23/3期159日→24/3期3Q146.6日
			金額	比率	金額	比率	増減額	
資産の部	流動資産	手許資金	19,977	20.2%	23,130	22.6%	3,153	たな卸資産は増加(+4,674) 31,583 → 36,257 回転期間 23/3期200.4日→24/3期3Q245.9日 4Qの販売に向けたたな卸資産は増加
		売上債権	25,060	25.4%	21,620	21.1%	△ 3,439	
		たな卸資産	31,583	32.0%	36,257	35.5%	4,674	
		その他	△ 948	△1.0%	△ 617	△0.6%	330	
	流動資産計		75,672	76.6%	80,391	78.6%	4,718	
	固定資産	有形固定資産	19,131	19.4%	17,523	17.1%	△ 1,607	有形固定資産は減少(△1,607) 19,131 → 17,523 タイ工場の売却に伴う減少
		無形固定資産	414	0.4%	582	0.6%	167	
投資その他の資産		3,580	3.6%	3,780	3.7%	199		
固定資産計		23,126	23.4%	21,886	21.4%	△ 1,240		
資産合計		98,799	100.0%	102,278	100.0%	3,478		
負債・純資産の部	負債	仕入債務	13,942	14.1%	14,430	14.1%	487	有利子負債は減少(△684) 34,379 → 33,694 長期借入金の返済に伴う減少
		有利子負債	34,379	34.8%	33,694	32.9%	△ 684	
		その他	3,571	3.6%	4,675	4.6%	1,104	
	負債計		51,893	52.5%	52,800	51.6%	907	
	純資産	利益剰余金	30,781	31.2%	33,073	32.3%	2,291	有利子負債は減少(△684) 34,379 → 33,694 長期借入金の返済に伴う減少
		評価換算差額等	4,901	5.0%	5,181	5.1%	280	
		その他	11,223	11.4%	11,222	11.0%	0	
純資産計		46,906	47.5%	49,477	48.4%	2,571		
負債・純資産計		98,799	100.0%	102,278	100.0%	3,478		

連結主要品目別売上高推移



進化の奥の更なる真価へ

(単位：百万円)

	2022年3月期 第3四半期		2023年3月期 第3四半期		2024年3月期 第3四半期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
建設用クレーン								
国内売上高	20,319	46.4%	21,504	54.6%	20,106	49.8%	△ 1,398	△6.5%
海外売上高	4,454	10.2%	2,592	6.6%	3,593	8.9%	1,001	38.6%
計	24,774	56.6%	24,097	61.2%	23,700	58.7%	△ 396	△1.6%
油圧ショベル等								
国内売上高	8,841	20.2%	5,979	15.2%	5,743	14.2%	△ 236	△4.0%
海外売上高	9,464	21.6%	8,547	21.7%	10,264	25.4%	1,716	20.1%
計	18,305	41.8%	14,527	36.9%	16,007	39.7%	1,480	10.2%
その他								
国内売上高	673	1.5%	736	1.9%	611	1.5%	△ 125	△17.0%
海外売上高	17	0.0%	0	0.0%	46	0.1%	45	-
計	690	1.6%	737	1.9%	657	1.6%	△ 80	△10.9%
合計								
国内売上高合計	29,834	68.2%	28,221	71.7%	26,460	65.6%	△ 1,760	△6.2%
海外売上高合計	13,936	31.8%	11,141	28.3%	13,904	34.4%	2,763	24.8%
計	43,770	100.0%	39,362	100.0%	40,365	100.0%	1,003	2.5%

建設用クレーン

国内：受注好調なものの、主要部品供給不足の影響もあり
前期比同水準
海外：アジア市場での販売強化を実施

油圧ショベル等

国内：弾力的な販売活動により前期比同水準
海外：中国市場では不調が続くものの、欧州・米州市場が好調

主要品目紹介

KATO

進化の奥の更なる真価へ

建設用クレーン



建設用クレーン

走行性に優れ多様な現場に対応可能。
狭い道路でも作業が可能であり、ビルや住宅や
インフラの建設に使われる

ラインナップ

ラフテレーンクレーン※車両運転席+クレーン操縦席一体型

国内：吊上能力4.9~80tの10機種

海外：吊上能力13~70tの8機種

オールテレーンクレーン※車両運転席+クレーン操縦席分離型

国内：吊上能力110~300tの4機種

海外：吊上能力110~130tの3機種

クローラクレーン

国内：6機種

海外：6機種

油圧ショベル等



油圧ショベル

不整地での走行性に優れ、
建設地の造成や建築物の解体などに使われる

ミニショベルラインナップ(車両重量0.9~10t)

国内：13機種

海外：24機種

中大型ショベルラインナップ(車両重量8~50t)

国内：8機種

海外：11機種



クローラキャリア

土木工事や林業など不整地での資材運搬に
使われる

ラインナップ

国内：7機種

海外：5機種

その他



路面清掃車

高い清掃能力とコンパクト化を両立

ラインナップ

国内：2機種



万能吸引車

汚泥から粉粒体まで、多様な吸引が可能

ラインナップ

国内：9機種



スノースイーパー

強力なブラシ&ブロー式を採用し効率の良い除雪作業を実現

ラインナップ

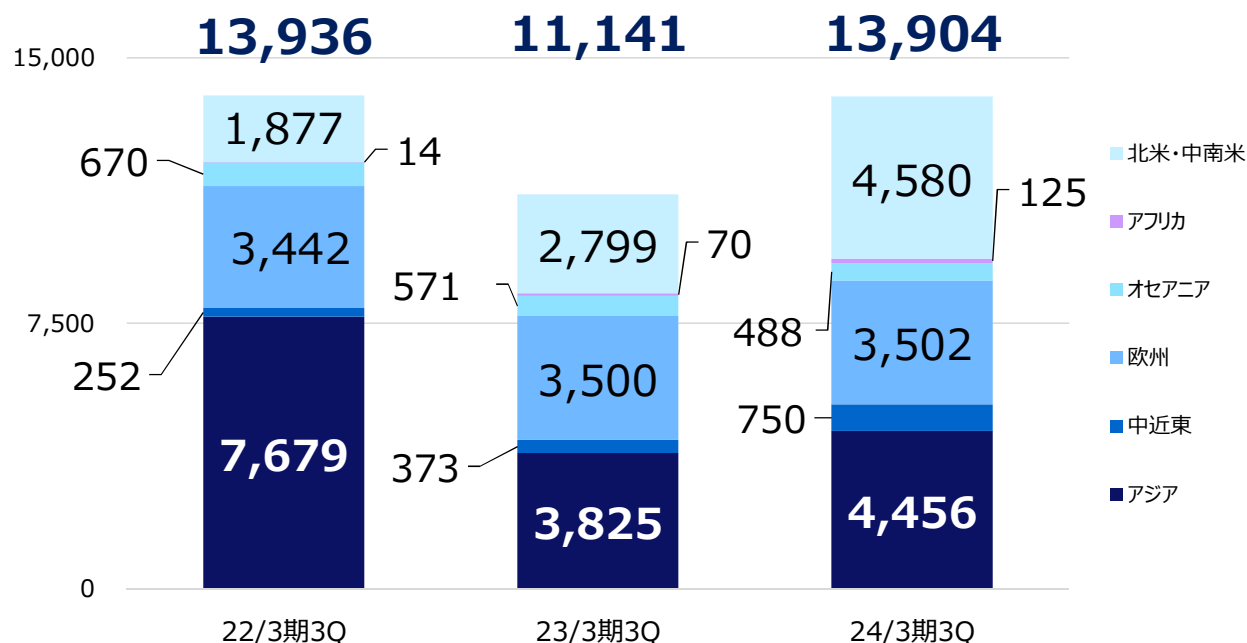
国内：5機種

連結仕向地別売上高(日本除く)



進化の奥の更なる真価へ

(単位：百万円)



アジア(前年同期比+16.5%)

3,825 → 4,456 (+631)
中国市場では苦戦が続くものの東南アジア市場で販売強化

欧州(前年同期比+0.0%)

3,500 → 3,502 (+1)
増収した前期並みの水準を維持

米州(前年同期比+63.7%)

2,799 → 4,580 (+1,781)
北米でのインフラ整備の需要増や好景気継続により大幅増収

	2022年3月期 第3四半期		2023年3月期 第3四半期		2024年3月期 第3四半期		前年同期比		総売上高構成比
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
アジア	7,679	55.1%	3,825	34.3%	4,456	32.1%	631	16.5%	11.0%
中近東	252	1.8%	373	3.3%	750	5.4%	377	101.2%	1.9%
欧州	3,442	24.7%	3,500	31.4%	3,502	25.2%	1	0.0%	8.7%
オセアニア	670	4.8%	571	5.1%	488	3.5%	△83	△14.6%	1.2%
アフリカ	14	0.1%	70	0.6%	125	0.9%	55	77.9%	0.3%
北米・中南米	1,877	13.5%	2,799	25.1%	4,580	32.9%	1,781	63.7%	11.3%
海外売上高合計	13,936	100.0%	11,141	100.0%	13,904	100.0%	2,763	24.8%	34.4%

2024年3月期通期連結業績予想

KATO

進化の奥の更なる真価へ

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 (前回予想)	2024年3月期 (今回修正)	
	金額	金額	金額	金額	増減率
売上高	63,549	57,530	60,000	56,000	△6.7%
営業利益	△ 7,222	1,258	1,200	1,200	0.0%
経常利益	△ 6,929	1,865	900	1,700	88.9%
親会社株主当期純利益	△ 9,575	2,403	2,000	2,200	10.0%

業績予想の修正について

国内売上については建設用クレーンの主要部品の供給不足に解消の目途が立ったものの、今期中は、その影響が大きく前回予想から減収となる見込みです。また海外売上については米州での販売は好調だったものの中国での販売が不調であり、全体としての売上高は前回予想を下回る見込みです。一方、損益面においては中期経営計画に基づく収益改善施策の効果や米州を中心に海外への輸出が復調したことに加え、為替の影響や不動産賃貸収益等もあり、経常利益については前回予想を大きく上回る見込みとなりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益についても一部海外事業の合理化等の費用を見込むものの、前回予想を上回る見通しとなりました。

期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ



進化の奥の更なる真価へ

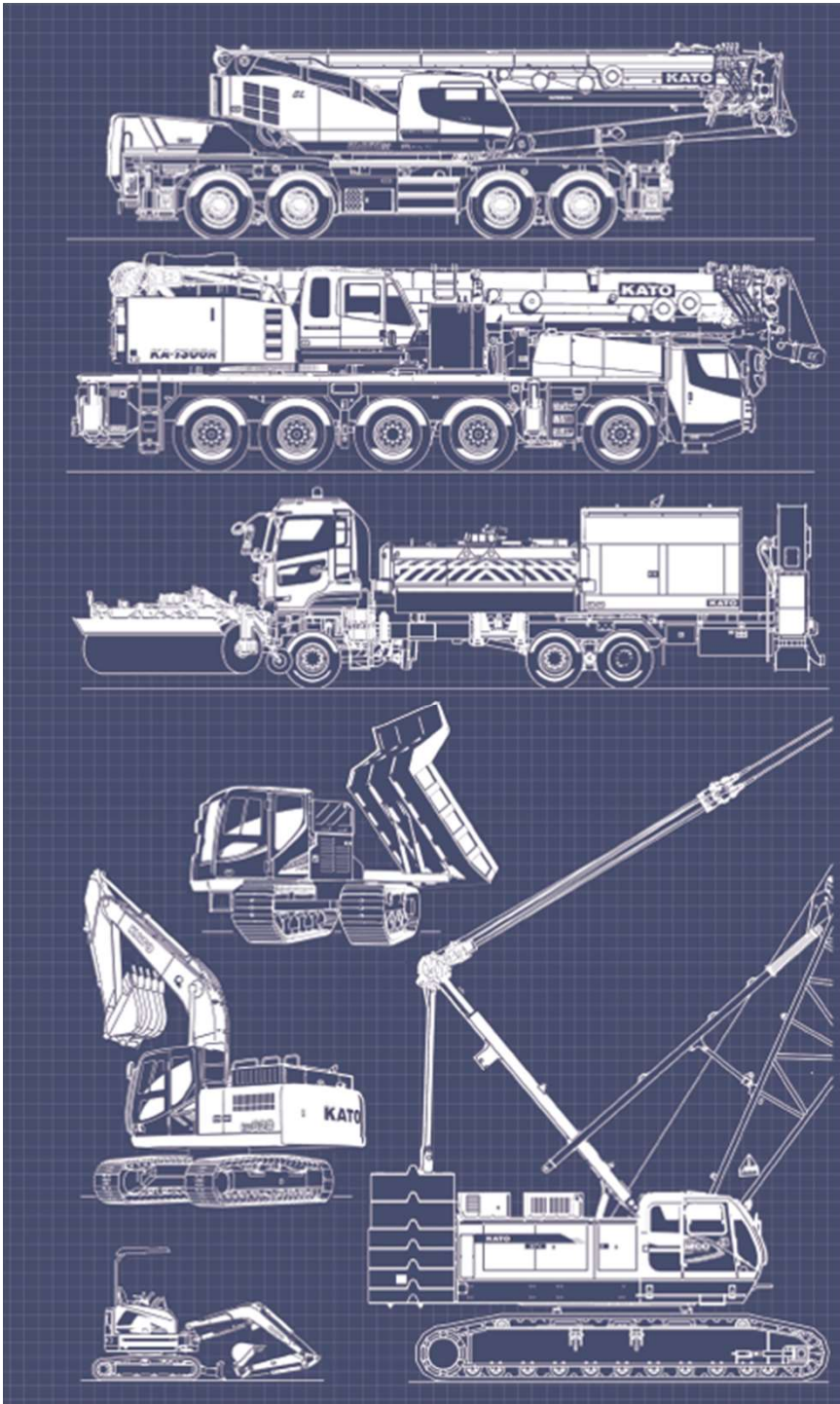
(単位：百万円)

		2024年3月期（前回予想）		2024年3月期（今回修正）	
		金額		金額	
1株当たり 配当金	中間		20.00円		20.00円
	期末		20.00円		30.00円
	年間		40.00円		50.00円

配当予想の修正理由

当社は、配当の決定にあたっては株主の皆様に対する利益還元を経営上の最重要課題の一つと考え、各期の業績および配当性向ならびに将来の成長に必要な内部留保等を総合的に勘案しつつ、安定的な配当を継続することを基本方針としております。

2024年3月期の期末配当につきましては、2023年5月12日に公表した計画数値を上回る確度が高いことから、上記方針に基づき1株当たりの配当金予想を前回公表の20円から30円に修正（増配）いたします。これにより、2024年3月期の年間配当予想は、1株あたり50円となる予定です。



TOPICS

「インド事業準備室」を新設



【2024年1月1日】

当社が新たな主要市場として進出を検討してきたインドにおいて事業参入の機会が得られる確度が高まったことから、早期の事業基盤構築を目的に2024年1月1日付で本社内に「インド事業準備室」を新設しました。インドは今後も人口の増加が続くことが見込まれ長期的に安定した建設機械需要が期待できる市場と捉えております。

今回の事業展開に伴う投資を含めた事業計画については現在検討を進めており、決定次第、適宜公表をしていく予定です。

災害復旧活動用建設機械を無償派遣



【2024年2月1日】

令和6年能登半島地震の発生を受け、当社茨城工場から被災地に向け不整地万能吸引車「IC75MV」を発送いたしました。

当機は足回りがクローラ式のため、通行困難な道路や不整地での走行が可能であり、広範囲における砂・砂利・汚水・泥土等の吸引機能などインフラの整備に適した機種です。

被災地における早期の復旧・復興活動のため当機の無償派遣を当面の間継続いたします。

注意事項・お問合せ先



本資料に記載されている現在の計画や今後の見通しに関する内容につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて、計画・予想したものであります。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。そのため、本資料におきましては、その実現を確約あるいは保証するものではありません。

お問合せ先

株式会社加藤製作所

コーポレートコミュニケーション部

〒140-0011 東京都品川区東大井1-9-37

E-Mail:ir-kato@kato-works.co.jp